

OVER the RAINBOW

巻頭言

大阪教育大学 理事・副学長 伊藤 敏雄

『混迷する世界情勢の中での国際交流』 vol. **23**

TOPICS

- スタッフ紹介
- 日本文化研修
 - 冬季日本文化研修(相撲)
 - 春季日本文化研修(兵庫)
- 地域の国際交流団体による交流活動
 - 教育支援金授与式
 - ホストファミリープログラム、スポーツ&ゲーム交流
 - 七夕笹飾り体験
 - 留学生講演「異文化の暮らしを学習しよう」
- Your story at OKU(留学生の声)
- 平成30年度前期修了留学生メッセージ
- グローバルセンターの活動
 - グローバルセンターが発足
 - 留学生後援会入会のお知らせ



大阪教育大学 理事・副学長 伊藤 敏雄

『混迷する世界情勢の中での国際交流』

私は2014年度に国際センター長を務めさせていただきました。その後、2年半の教員養成課程長を経て、昨年10月に学生担当の理事・副学長になりました。国際センターは本年2月にグローバルセンターに改組されました。教職員や学生のこれまで以上の協力により、本センターが充実・発展するとともに、本学のグローバル化が一層進展することを願っています。

さて、世界中のサッカーファンが熱狂したサッカー・ワールドカップもフランスの優勝で幕を閉じたところです。皆さんの中にも寝不足になった方もおられると思います。試合が終わるたびに、国を超えて健闘をたたえ合う選手たちの姿が感動的でした。

しかし、世界の政治情勢に眼を移すと、世界各地で紛争・内乱や対立が続き、子どもたちをはじめとする多くの無辜の命が奪われ続けています。また、2016年には、イギリスが国民投票の結果、EU 離脱を表明し、アメリカ合衆国ではトランプ政権が誕生して「アメリカ第一」を掲げるなど、グローバル化加速の中で、一国主義への動きも加速されつつあります。今年になっても、イギリスの EU 離脱の具体的工程が見

いだせないままであり、華々しく演出された6月12日の米朝首脳会談も、先行き不透明なまま、過去の出来事になりつつあります。

このように混迷する世界情勢の中にあっても、グローバル化の波はとどまるところを知りません。グローバル化における企業や教育・研究機関、グループ、個人の役割がますます増大していると言えます。本学もその一端を担えればと思います。

また、こうした世界情勢に対して、私たちは無力ですが、国際交流の輪を広げることは可能です。留学生をはじめ、海外の研究者や教育者との交流の輪を広げていきたいと思っています。そのためにも、留学生同士の交流のほか、日本の学生・院生や教職員との交流を一層広げられることを期待しています。日本の学生・院生や教職員も、留学生との交流に積極的に関わっていただければと思います。

留学生の皆さんにとっても、本学での勉学と交流が、将来に向けて貴重な財産になるように祈っています。



» スタッフ紹介

2018年7月より、国際室で留学生の皆さんのお手伝いやサポートをさせていただくことになりました坪井昭です。以前は教務課で履修や成績関係の業務に携わっておりました。

母国を離れて言葉や文化が違う環境での留学生活はいろいろ大変なことが多いかと思います。困ったことがあれば、些細なことでも気軽に相談してください。

留学生の皆さんの少しでも力になれるよう精一杯サポートしていきたいと思っていますので、よろしくお祈りします。



国際室 坪井 昭

冬季日本文化研修

大相撲観戦

グローバルセンターの春休みの恒例行事、大相撲春場所観戦。3月16日に23名の留学生が参加しました。当日は出発前にグローバルセンターの長谷川ユリ教授から相撲に関する事前講義を受けて、会場である大阪府立体育会館へ向かいました。

会場に着くと、本場所ならではの熱気を感じながら場内に入りました。入場前の入口から混雑しており、中は満員御礼。座席は土俵から離れていましたが、ほぼ真正面で試合の様子がよく見えました。

相撲の独特の雰囲気と試合の迫力に留学生は興味津々。試合に歓声を上げ、拍手を送っていました。力士が通る花道の奥へ行き、間近で力士を見て、一緒に写真を撮るなど、テレビを通じてはできない体験に満足した様子でした。



6月16日、17日に春季日本文化研修が実施され、留学生52名が参加しました。今回の研修先は、三重県の伊賀流忍者博物館、二見浦夫婦岩、伊勢神宮です。

研修初日、伊賀流忍者博物館を訪れました。江戸時代末期の土豪屋敷を移築した「忍者屋敷」では、忍者の格好をした職員の家内を屋敷を見て回りました。忍者が逃亡などに使用した「どんでん返し」や「隠し戸」などの数々の仕掛けの実演に留学生は歓声をあげ、忍者屋敷の他に手裏剣投げ体験や資料館を見学し、日本特有の忍者文化体験に大満足した様子でした。その後、伊勢市に移動し、水族館「ふれあい水族館シーパラダイス」と有名な夫婦岩に行きました。水族館では、定番のアシカショーの他、ふれあい型の水族館ということでカワウソなど多くの動物たちと触れ合うことができました。留学生は動物たちと沢山写真を撮り、とても楽しんでいました。夫婦岩の見学でも、友達と写真を撮ったり、夫婦岩の由来や参拝の説明を聞いたりと思いに過ごしました。

2日目は、伊勢神宮の内宮を参拝しました。まず五十鈴川御手洗場で心身を清めた後、正宮へ参拝し、古殿地などを見学しました。日本屈指のパワースポットということで、留学生も神聖な雰囲気と歴史を感じた様子でした。その後は待ちに待った自由行動です。伊勢神宮横のおかげ横丁に繰り出した留学生たちは、有名な赤福やお団子などの食べ歩きを楽しみ、多くのお土産を購入したようで、皆大きな袋を抱えていました。今回の研修も、多くの留学生仲間と交流し、古代からの日本の文化、自然の美しさに触れることのできた貴重な2日間となりました。

春季日本文化研修

三重方面



地域の国際交流団体による交流活動

教育支援金授与式

4月3日、大阪柏原ロータリークラブ様より、本学の私費外国人留学生3名に、平成30年度第1回目の教育支援金(奨学金)が授与されました。

教育支援金を授与された学生

- ・龔 銀亜(キョウ ギンア) / 大学院教育学研究科社会科教育専攻2回生 中国
- ・張 斌(チョウ ヒン) / 教育学部教育協働学科グローバル教育専攻2回生 中国
- ・NGUYEN THI THANH TAM(ゲンティエン タン タム) / 教育学部教育協働学科健康安全科学専攻2回生 ベトナム

教育支援金授与の場では、受給者の3名は大学生生活における抱負や将来の目標を語るとともに、ロータリークラブ例会や家族会等の行事毎にお世話になり、様々なことを経験させていただけると感謝の意を表しました。大阪柏原ロータリークラブ様からは、1人年間24万円(月額2万円×12ヶ月)の奨学金をいただいています。経済的に厳しい状況で大学生活を送る留学生が多い中、そのお志は、彼らが勉学を継続するうえで大きな支えとなっていることに感謝いたします。



七夕笹飾り体験

シニア自然中学校

7月4日、シニア自然中学校の皆さまの主催により、今年度も七夕の笹飾り体験を開催していただきました。台風が九州に接近する中、梅雨前線が刺激されたのか、雲が多く、生憎の梅雨空でしたが、会場は熱気に包まれていました。

土曜日に竹の先端から刈り取った笹の葉を用意して頂き、緑の香りの中で、笹飾りを行いました。色とりどりの提灯や吹き流し、織姫と彦星といった笹飾りに加え、それぞれの想いをのせた短冊で笹を彩りながら、シニア自然中学校の皆様と交流を深めました。短冊に書いた願い事は「世界平和」というグローバルなものから「家内安全」「ダイエット」といった具体的なものまで多種多様でした。アルファベット以外にも、ハングル、ヒンズー語やタイ語といった文字で書かれたものも数多くありました。

丁寧な指導を受けながら、隣の友人達と賑やかに笹飾りを作り、日本の文化を満喫した一日でした。終了後は、雲の合間を縫って、恒例の記念撮影を行い、別れを惜しみました。



異文化の暮らしを学習しよう

柏原市人権推進課

7月4日、柏原市フローラルセンターで毎年実施されている講座「異文化の暮らしを学習しよう」において、本学の留学生、ファドアさんが講師として招かれ、出身国のエジプトについて紹介しました。ファドアさんは、学校教育教員養成課程中等教育専攻英語教育コース2回生です。

ファドアさんの話は、エジプトの公用語、地理や気候、屋台の食べ物、出身地であるアレキサンドリアの紹介、カイロやナイル川、紅海などの見どころ、ムスリムの女性のおしゃれなど、多岐にわたりました。休憩時には、ファドアさんが持参した、世界的に有名なエジプト綿で作られたTシャツやアクセサリ、ヒジャブなどを参加者が実際に手に取って見ることができました。また今回は、ファドアさん手作りの飲み物が、ハイビスカスのジュース、ミント入りお茶、ミント入り紅茶と3種類も用意され、エジプトから送られてきたナツメヤシとともに味わいながら交流を深めました。

質疑応答の時間には、「ハラールの食べ物はどうしているのですか」「ヒジャブは、女性だけで集まるときはかぶらなくてもいいのですか」「エジプトの通貨、エジプト・ポンドと円のレートを教えてください」「日本の物価は高いと感じますか」など数多くの質問が出ました。また、「準備してくれた飲み物はとてもおいしかった」「ナツメヤシもおいしかった」「今回の講座も楽しみにしている」との声が寄せられ、大変好評でした。



グローバル香芝

ホストファミリープログラム

ホームビジット

- チェ スンミン / 韓国 / 特別聴講学生
- キム スピン / 韓国 / 特別聴講学生

6月9日、留学生11人はグローバル香芝ホームビジットプログラムに参加しました。まず全員で集まって自己紹介をし、その後、パートナーになるホストファミリーと留学生が発表されました。それぞれとても楽しい午後を過ごしました。以下は参加した2人の留学生の感想です。

「私のホストファミリーは五位堂で一人暮らしをしている男性でした。広くて静かな家に入ると2匹のかわいい猫が私を迎えました。一緒に散歩しながら住んでいる町を紹介してもらいました。そして買い物に行き食材を買って家に帰りました。ホストファミリーは素晴らしい魚料理と素麺を作ってくださいました。二人で食事をしながら楽しく話し合いました。ホストファミリーは韓国で働いたことがあって韓国についてよく知っていました。私はプレゼントで韓国の伝統の扇をあげました。ホームビジットプログラムを通して日本家庭の生活を実際に経験できてとても有益でした。他の留学生にもすすめます(チェ スンミン)」。

「私は人見知りでしたが、とても緊張しました。ホストファミリーは女子大学生とお父さんでした。本当に優しく親切でしたからすぐ親しくなりました。お父さんが奈良公園に連れて行ってくださって、一緒に散歩しながら話したり、シカに餌をあげたりしながら忘れない思い出を作りました。そしてホストファミリーの家に行き一緒にたこ焼きパーティーをしました。とても楽しくて、買ったたこ焼きより100倍ぐらい美味しかったです。また一緒に遊ぶことを約束して、お父さんが寮まで送ってくださいました本当に感謝しています。新しいお父さんと妹ができて嬉しい一日でした。また会うのが楽しみです(キム スピン)」。



スポーツ・ゲーム大会

ロトベック・クス・サイカル / キルギス / 日本語・日本文化研修留学生

5月19日、白鳳短期大学でグローバル香芝の「スポーツ & ゲーム」大会が行われました。大教大の留学生が10人ぐらい参加し、楽しんで来ました。白鳳短期大学の留学生達やグローバル香芝の皆さんに笑顔で歓迎されました。

まず、午前中は五つのグループに分かれてソフトバレーボールをしました。昼ご飯を食べた後言葉ゲームや、ボールを使ったゲームをしました。私のチームは7人でBチームでした。Bチームは優勝してプレゼントももらえました。でも、重要なのはゲームの勝敗ではなく、交流だったと思います。参加した人が色々なことについて話したり、持っている情報を交換したり、ゲームでお互いを応援したりすることが最高だったと思います。チームワークでお互いに協力しなかったら、一人では何もできないということが分かりました。グローバル香芝の皆さんと、参加した留学生の皆さんに「ありがとうございました」と言いたいです。これからも交流を続けていきたいです。



Your Story at OKU



ワルシャ・サルンケ
(Varsha Salunke)
インド

●大阪教育大学での留学生活で一番の思い出は？

門松、着物、相撲、研修旅行、ホームビジットなど、寮で住むことから大学で勉強することまで日本文化を味わうことができました。研修旅行に参加すること、伝統的な文化を学ぶことはもちろん、先生方の授業にでることは一番楽しかったです。授業中でのグループディスカッションを経て日本人だけではなく外国人と意見交換することができ、さらに、感想文とレポートを書くこと、発表をすることなどのおかげで自分の意見を日本語ではっきり表すようになりました。留学生活を楽しみながら色々勉強になりました。

●大阪教育大学の好きなところは？

大教大の好きなところは、エスカレーターでの山登り、図書館の学びのひろば、食堂、勉強しやすい環境、笑顔で迎える警備員達、いつもサポートしてくれる親切な先生方、支えてくれるグローバルセンターの係員達、困るとき助けてくれるRAさん達、家族のような香芝の皆さん、友達のようなチューターさんと同級生、皆さんに心の底から感謝の気持ちを表したいです。

●大阪教育大学での留学体験を将来何に役立てたいですか？

留学体験を通して、日本語が上達するにつれ日本人と話す自信が高くなりました。また文化交流で異なる国の様々な価値観のことを学びました。

これらの経験は、将来インドと日本の掛け橋になるため役立てたいです。また、将来の道を歩むときどんなに悲しいことがあっても明日はまたいい出会いのために待っているから、諦めないで次へ進むことを習いました。留学する目的は大教大で達成できたと思います。どうもありがとうございました。



ギル・メーガン
(Gill Megan)
アメリカ/交換留学生

●Why did you choose OKU?

I thought OKU would be great because it is close to Universal Studios
—just kidding! I have only been to Universal Studios Japan once!

I chose OKU after talking to an upperclassman who studied abroad at OKU before. He praised the Japanese language program here, saying that it would challenge us more than any of our previous classes had. Another factor was making close friends from OKU while they studied abroad at my university, Western Carolina. These friends were also able to give tips on surviving at OKU, and were my first “Japanese” friends! Additionally, I thought that I would enjoy talking to other people in Osaka. Why? I loved

listening to my friend’s Osaka accent. So, I thought that I would learn some Kansai-ben in Osaka, so I wanted to come here! (However, I have not succeeded— I still do not understand 80% of what is said to me in standard Japanese!)

●What is the best memory during your stay?

My best memory while at OKU would just be playing soccer with so many different people! From playing with my soccer class, other exchange students, my boyfriend and friends, as well as my Futsal circle, I have met so many people through soccer! Although, my Japanese is not very good, I learned that a lot can be shared and understood about different cultures through sports. No matter where you are from, I think that sports are a great way to make friends. Also, just recently, being able to cheer on Japan during the World Cup with Japanese friends and people from around the world is amazing—!


●Future plan

In August, I have to return to WCU, as my one year of exchange has ended. However, I will be graduating in December of 2018 with a degree in International Studies and Dual Language Studies (Spanish and Japanese). Then in February, I will come back to Japan to work at an International Kindergarten for at least one year. After that, I am not sure what I will do, but, one day, I want to go to graduate school and continue having a successful career as a teacher in Japan! No matter where I live and work, OKU will always be special to me, so I will definitely be here to visit again!






- 日本語・日本文化研修留学生
KYAW THIHA
チャー ティ ハ
(ミャンマー)
- RANGLIN GRISSLER AXEL JAKOB
ランリン グリスレル ヤコブ
(スウェーデン)
- 特別聴講学生
KIM SEWON
キム セウオン
(韓国)

	氏名 キョウ・ティハ
	出身 インド

OKUでの経験は一生忘れられない！
めっちゃ楽しかった！

明日もまたいい出会いのために大教大にきたい！

	氏名 ワイビューリン
	出身 ミャンマー

色々謝らせてくれて
ありがとうございます。
飛行機乗遅れとか
一年間たくさんの迷惑
をかけてしまってすみません。
この一年間 本当に楽し
かったです。


	氏名 ライニ
	出身 ミャンマー

大阪に留学したのは今までの
人生の最盛期でした。子供
の時から日本を生活したい
と思っていたので、この一年間
が最高でした。大教大の
留学生として、様々な体験が
でき、素敵な人に会うことが
できました。

	氏名 ケウアイ・グレート
	出身 ハンガリー

めちゃ楽しい一年でしたね！
皆さんに感謝しかありません！
OKU, また会いましょう！




	氏名 ホウ フウビン
	出身 中国

友達を作り、活動に参加し、
視野を広げ、日本語を勉強
する。素晴らしい一年に！

	氏名 ブ・ティ・タンキ
	出身 ベトナム

大教大の第2ホーム

父と母みたいやさしい先生、
兄弟みたい良い友達、
すてきな思い出、体験を
恵まれて、ほんまにありがた
いことだ！ぬちが大好きやねん

	氏名 クエン・ティ・チュン
	出身 ベトナム

一年間の 留学生活はあといろ
に変わりますが、新しい友達と
新しい経験ができてとても
充実な一年間となりました。
日本が大好きです。

	氏名 サイカール
	出身 キルギス

OKUの皆さん、
一年間
ありがとうございました。

心より Saikal
Bisfel

	氏名 パクジュヨン
	出身 韓国


大阪大教大は本当に楽しい思い出を
いっぱい作ることができました！
やさしい先生もたくさんあって
本当に楽しい思い出ができました！
大教大は本当にいい思い出が
いっぱいできてとても楽しかったです！
また会いましょう！




	氏名 チョンソン
	出身 韓国

卒年の1年でした。
皆さん ほんとうに
ありがとう




	氏名 カク ケツリン
	出身 中国

春の桜
夏の差し。
秋の月。
冬の雪。
優しい人たち。
ありがたい日々。

	氏名 カク ケツキ
	出身 中国

日本が大好きです！
桜はきれいで食べ
物も美味しいです！
さまざまなことを知
強しました！本当に楽し
かったです！

	氏名 カク ケツ
	出身 中国

一年間、日本語を教く
ていただき、ありがとう
ございました。

グローバルセンターの活動

グローバルセンターでは、年間を通して海外の協定校との交流プログラムを実施しています。ここではその一部をご紹介します。

グローバルセンターが発足

2018年2月にグローバルセンターが発足しました。

同センターは、国内外の教育・研究機関と連携して教員養成の機能強化を図り、グローバル化に対応できる人材の養成を目的としています。これまで、日本人学生の留学支援や海外からの留学生の受け入れを主な任務とする国際センターと、海外の研究機関との交流を主たる任務とするグローバル教育センターに分かれていたものを統合し、教育・研究を一体化して大阪教育大学の国際化を進める総合的なセンターへと生まれ変わりました。

新たなセンターは、学生の自律的な外国語学習を支援する語学教育部門、外国人留学生に対する学修支援を行う留学生教育部門、海外の高等教育機関と共同研究を進め、教員養成の質の向上をめざす研究開発部門など、5つの部門で構成されています。

高橋登センター長は、「二つのセンターを統合し、迅速かつ効率的に業務に対応できるよう、学内体制の見直しを図りました。外国

人留学生の受け入れや日本人学生の留学促進により一層力を入れていくのはもちろんのこと、海外の高等教育機関との連携を深め、研究者間の交流も活発にしていきたい」と抱負を語りました。



英語で学ぶ日本型教育体験プログラム(SICEP)を実施

海外協定校の学生を対象とした英語による短期受入プログラム「大阪教育大学 英語で学ぶ日本型教育体験プログラム」が柏原キャンパスで6月25日から7月6日まで実施され、スイス、アメリカ、中国(香港)から10人の学生が参加しました。



同プログラムは、日本の教育や日本文化に関心のある海外の学生を受け入れ、小学校、中学校、高校での観察実習と児童生徒との交流を通してグローバルな視点を持つ人材を育成することを目的としています。

日本語を学んだことのない学生も参加できるよう、プログラムはすべて英語を使用して行われました。日本滞在中、本学の学生が参加学生のチューターとして生活面と言語面のサポートをしながら交流を深めました。

プログラムでは、本学の授業への参加、附属学校の授業見学、および交流授業の実施、そして大阪くらしの今昔館と山本能楽堂での日本文化体験を行いました。平野高校では1年生のクラスに入り、小グループに分かれて参加学生の国の文化や学校生活を紹介

した後、互いの国のイメージや教育の相違点についてディスカッションを行いました。天王寺小学校では、3年生と5年生の英語の授業と一緒に参加し、児童と英語でコミュニケーションをとりました。その後、給食と清掃の時間も児童とともに過ごしました。

参加した学生は「日本では、自分の学校を児童生徒自身が清掃していて素晴らしい」「高校生と話して、日本と自分の国の学校生活のそれぞれの良さに気づいた」「日本の文化や教育を体験から学ぶことができた」「大阪教育大学の学生と交流できて楽しかった」と感想を述べました。



会員募集中 留学生後援会入会のご案内

留学生後援会では奨学金支給、国際交流行事支援などを行っております。ご賛同くださる皆さまは、下記によりぜひご加入下さい。

会費・納入方法

一般会員 学内職員

- 一口1,000円/月、または一括・給与から天引き

特別会員 学外支援者

- 振込…任意の金額を下記いずれか宛てにお振込下さい

ゆうちょ銀行はるる

記号: 14120 番号: 96618321

名義: 大阪教育大学留学生後援会
(オオサカキョウイクダイガクリュウガクセイコウエンカイ)

三菱東京UFJ銀行 藤井寺支店

普通預金 口座番号: 5210211

名義: 大阪教育大学留学生後援会
(オオサカキョウイクダイガクリュウガクセイコウエンカイ)

- 現金納入

